



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 株式会社北日本銀行 上場取引所 東  
コード番号 8551 URL <https://www.kitagin.co.jp/>  
代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 石塚 恭路  
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高橋 学 (TEL) 019-653-1111  
配当支払開始予定日 —  
特定取引勘定設置の有無 無  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,343	△11.1	1,626	65.0	1,112	72.3
2024年3月期第1四半期	7,133	20.2	985	△22.3	646	△23.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,039百万円(△35.3%) 2024年3月期第1四半期 4,700百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	131.86	131.46
2024年3月期第1四半期	76.86	76.43

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,576,038	88,657	5.6
2024年3月期	1,522,676	86,040	5.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 88,621百万円 2024年3月期 85,973百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 80.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,600	△22.1	1,600	9.8	1,100	23.0	130.34
通期	23,300	△19.7	3,900	△4.8	2,800	△8.9	331.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	8,793,776株	2024年3月期	8,793,776株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	342,867株	2024年3月期	354,635株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	8,439,356株	2024年3月期1Q	8,404,004株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 6
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	P. 6
(会計方針の変更) .....	P. 6
(セグメント情報等の注記) .....	P. 6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	P. 7
2025年3月期 第1四半期決算説明資料 .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2024年4月1日~2024年6月30日)の経常収益は、リース関連収入が減少したことなどにより、前年同四半期比790百万円減少して6,343百万円となりました。

経常費用は、リース関連費用や貸倒引当金繰入額が減少したことなどにより、前年同四半期比1,430百万円減少して4,717百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同四半期比641百万円増加の1,626百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比466百万円増加の1,112百万円となりました。

セグメントごとの損益状況につきましては、「銀行業」の経常収益が貸出金利息が増加したことなどにより前第1四半期連結累計期間比211百万円増加して5,583百万円、セグメント利益である経常利益が貸倒引当金繰入額の減少などにより前第1四半期連結累計期間比559百万円増加して1,611百万円となりました。「リース業」の経常収益がリース関連収入の減少などにより前第1四半期連結累計期間比981百万円減少して843百万円、セグメント利益である経常利益が経常収益は減少したもののリース関連費用や貸倒引当金繰入額の減少などにより前第1四半期連結累計期間比60百万円増加して23百万円となりました。「クレジットカード業・信用保証業」の経常収益が前第1四半期連結累計期間比1百万円減少して188百万円、セグメント利益である経常利益が与信費用の増加などにより前第1四半期連結累計期間比21百万円減少して48百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

預金残高(譲渡性預金含む)は、公金・金融機関預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比500億円増加して1兆4,713億円となりました。

貸出金残高は、事業性貸出金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比55億円減少して1兆717億円となりました。

有価証券残高については、国内外の投資環境や市場動向に留意した取り組みの結果、前連結会計年度末比60億円増加して2,738億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、主に与信関係費用が予想を下回っていることから、当第1四半期時点で2024年5月14日に公表した2025年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を上回っておりますが、今後の与信関係費用発生の可能性等も考慮し、現時点において業績予想の修正はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	134,166	187,754
買入金銭債権	207	183
商品有価証券	46	39
金銭の信託	8,941	9,054
有価証券	267,772	273,812
貸出金	1,077,289	1,071,738
外国為替	1,921	1,799
リース債権及びリース投資資産	9,313	9,173
その他資産	10,250	10,158
有形固定資産	14,929	14,914
無形固定資産	1,262	1,279
退職給付に係る資産	2,649	2,670
繰延税金資産	191	191
支払承諾見返	2,647	2,150
貸倒引当金	△8,912	△8,880
<b>資産の部合計</b>	<b>1,522,676</b>	<b>1,576,038</b>
<b>負債の部</b>		
預金	1,418,239	1,468,300
譲渡性預金	3,000	3,000
借入金	1,621	1,507
その他負債	4,157	4,899
賞与引当金	353	89
役員賞与引当金	16	—
退職給付に係る負債	1,643	1,630
役員退職慰労引当金	3	3
睡眠預金払戻損失引当金	48	48
ポイント引当金	9	11
繰延税金負債	2,769	3,614
再評価に係る繰延税金負債	2,126	2,126
支払承諾	2,647	2,150
<b>負債の部合計</b>	<b>1,436,635</b>	<b>1,487,381</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	7,761	7,761
資本剰余金	4,989	4,992
利益剰余金	56,969	57,660
自己株式	△829	△802
株主資本合計	68,890	69,611
その他有価証券評価差額金	11,511	13,458
土地再評価差額金	4,666	4,666
退職給付に係る調整累計額	904	883
その他の包括利益累計額合計	17,083	19,009
新株予約権	66	36
<b>純資産の部合計</b>	<b>86,040</b>	<b>88,657</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,522,676</b>	<b>1,576,038</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	7,133	6,343
資金運用収益	4,139	4,261
(うち貸出金利息)	3,077	3,168
(うち有価証券利息配当金)	1,001	1,024
役務取引等収益	677	682
その他業務収益	1,864	882
その他経常収益	452	518
経常費用	6,147	4,717
資金調達費用	28	84
(うち預金利息)	24	80
役務取引等費用	610	622
その他業務費用	1,761	768
営業経費	3,125	3,156
その他経常費用	622	86
経常利益	985	1,626
特別利益	1	—
固定資産処分益	1	—
特別損失	10	5
固定資産処分損	10	5
税金等調整前四半期純利益	975	1,620
法人税、住民税及び事業税	329	507
法人税等合計	329	507
四半期純利益	646	1,112
親会社株主に帰属する四半期純利益	646	1,112

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	646	1,112
その他の包括利益	4,054	1,926
その他有価証券評価差額金	4,066	1,947
退職給付に係る調整額	△11	△21
四半期包括利益	4,700	3,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,700	3,039

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業・ 信用保証業	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	5,257	1,822	52	7,133	—	7,133
セグメント間の内部経常収益	115	1	136	253	△253	—
計	5,372	1,824	189	7,386	△253	7,133
セグメント利益又は損失(△)	1,052	△37	69	1,084	△99	985

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業・ 信用保証業	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	5,505	843	50	6,399	△55	6,343
セグメント間の内部経常収益	78	0	137	216	△216	—
計	5,583	843	188	6,615	△271	6,343
セグメント利益	1,611	23	48	1,684	△57	1,626

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。  
 2. 外部顧客に対する経常収益の調整額は、貸倒引当金繰入額の調整によるものであります。  
 3. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	174 百万円	215 百万円

## 2025年3月期 第1四半期決算説明資料

### 1.損益状況【単体】

- **経常収益**は、貸出金利息が増加したことなどにより、前年同四半期比211百万円増加の5,583百万円となりました。
- **業務粗利益**は、資金利益が増加したことなどにより、前年同四半期比22百万円増加の4,167百万円となりました。
- **実質業務純益**は、人件費や物件費が増加したことなどにより、前年同四半期比13百万円減少の1,080百万円となりました。
- **経常利益**は、与信費用が減少したことなどにより、前年同四半期比559百万円増加の1,611百万円となり、**四半期純利益**は、前年同四半期比387百万円増加の1,120百万円となりました。
- なお、2025年3月期第2四半期累計期間業績予想比進捗率は、経常収益が55.8%、経常利益が107.4%、四半期純利益が112.0%と順調に推移しておりますが、今後の与信費用発生の可能性も考慮し、業績予想については2024年5月14日公表の数値から変更はございません。

(単位：百万円)

	当四半期 25年3月期 第1四半期累計期間		前年同四半期 24年3月期 第1四半期 累計期間	25年3月期 第2四半期 累計期間予想 (6ヶ月間)	<参考> 24年3月期 実績 (12ヶ月)
		増減			
<b>経常収益</b>	5,583	211	5,372	10,000	24,423
<b>業務粗利益</b>	4,167	22	4,145		14,341
資金利益	4,245	26	4,219		17,058
役務取引等利益	△ 87	△ 3	△ 84		92
その他業務利益	9	△ 1	10		△ 2,808
うち国債等債券損益	—	△ 0	0		△ 2,828
経費(除く臨時処理分)(△)	3,086	34	3,052		12,719
うち人件費(△)	1,560	10	1,550		6,130
うち物件費(△)	1,338	30	1,308		5,786
<b>実質業務純益</b> ※1	1,080	△ 13	1,093		1,621
<b>コア業務純益</b> ※2	1,080	△ 13	1,093	1,400	4,449
除く投資信託解約損益	1,080	△ 25	1,105		4,210
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	—	△ 0	0		249
業務純益	1,080	△ 13	1,093		1,372
臨時損益	531	572	△ 41		2,588
うち不良債権処理額(△) ②	—	△ 479	479		1,171
うち貸倒引当金戻入益 ③	55	55	—		—
うち償却債権取立益 ④	146	141	5		37
うち株式等関係損益	206	△ 21	227		2,772
<b>経常利益</b>	1,611	559	1,052	1,500	3,960
特別損益	△ 5	5	△ 10		△ 199
税引前四半期(当期)純利益	1,605	564	1,041		3,760
法人税等(△)	484	176	308		744
<b>四半期(当期)純利益</b>	1,120	387	733	1,000	3,016
実質与信費用(△) (=①+②-③-④)	△ 201	△ 675	474		1,383

※1 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費

※2 コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

## 2.預金、貸出金等の残高【単体】

- > 当四半期末の**預金残高**は、法人預金及び公金・金融機関預金が増加したことなどにより、預金残高全体（譲渡性預金含む）では前年同四半期末比333億円増加の1兆4,732億円となりました。  
 > **預かり資産残高**は、生命保険残高及び投資信託残高が増加したことなどにより、前年同四半期末比45億円増加の1,200億円となりました。  
 > **貸出金残高**は、住宅ローン及び事業性貸出金が増加したことなどにより、前年同四半期末比452億円増加の1兆796億円となりました。

### (1)預金残高

(単位：百万円)

	2024年6月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2024年3月末
預金総額（譲渡性預金含む）	1,473,239	1,439,888	33,351	1,423,534
預金	1,470,239	1,436,888	33,351	1,420,534
個人預金	1,026,858	1,030,831	△ 3,973	1,019,999
法人預金	366,872	353,050	13,822	364,112
公金・金融機関	76,509	53,006	23,503	36,422
譲渡性預金	3,000	3,000	0	3,000

### (2)預かり資産残高

(単位：百万円)

	2024年6月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2024年3月末
生保・投信預かり残高	120,031	115,453	4,578	118,490
生命保険	88,688	85,393	3,295	88,781
うち個人年金保険	13,788	10,357	3,431	13,594
投資信託残高	31,343	30,060	1,283	29,709

(参考)

国債等預かり残高	12,015	13,103	△ 1,088	11,794
----------	--------	--------	---------	--------

※生命保険は「有効契約の保険料残高(平準払保険を除く)」を記載しております。

### (3)貸出金残高

(単位：百万円)

	2024年6月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2024年3月末
貸出金総額	1,079,691	1,034,427	45,264	1,085,241
事業性貸出金	505,572	485,919	19,653	516,523
個人ローン	509,365	484,457	24,908	504,220
住宅ローン	480,928	456,097	24,831	475,959
その他ローン	28,436	28,359	77	28,261
地公体貸出	64,753	64,050	703	64,497

### 3. リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況【単体】

➤ 当四半期末の金融再生法開示債権は、前年同四半期末比242百万円減少し19,362百万円となりました。また、総与信に占める割合は、前年同四半期末比0.10%低下して1.77%となりました。

(単位：百万円)

	2024年6月末		2023年6月末		2024年3月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,633	6,263			5,662	
危険債権	10,294	9,874			10,192	
要管理債権	3,433	3,466			3,281	
三月以上延滞債権	277	98			112	
貸出条件緩和債権	3,155	3,367			3,168	
合計 (A)	19,362	19,604			19,136	
正常債権	1,071,347	1,024,050			1,077,571	
総与信額 (B)	1,090,709	1,043,654			1,096,707	
総与信に占める割合 (A) / (B)	1.77%	1.87%			1.74%	

(注) 1. 算定方法については、当行の定める「資産の自己査定基準」に基づき、2024年6月末時点で実施した資産査定結果による債務者区分を前提としております。

2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

※ 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	実質破綻先、破綻先の債権
危険債権	破綻懸念先の債権
要管理債権	要注意先のうち、元本又は利息の支払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

### 4. 自己資本比率(国内基準)【単体・連結】

➤ 当四半期末の自己資本比率は、単体が前年同四半期末比0.11%上昇し8.85%、連結が前年同四半期末比0.13%上昇し9.12%となりました。

(単位：百万円)

	2024年6月末		2023年6月末		2024年3月末	
	単体	連結	単体	連結	単体	連結
自己資本比率	8.85%	9.12%	8.74%	8.99%	8.66%	8.93%
自己資本の額	68,908	71,518	66,380	68,843	67,824	70,442
リスク・アセット等	778,500	783,909	759,336	764,942	782,761	788,456
総所要自己資本額	31,140	31,356	30,373	30,597	31,310	31,538

## 5.有価証券の状況【単体】

- 当四半期末の有価証券残高は前年同四半期末比434億円減少し、2,747億円となりました。
- 当四半期末のその他有価証券の評価差額は、前年同四半期末比8,419百万円増加し、19,479百万円の評価差益となりました。

### (1) 有価証券残高

(単位：百万円)

	2024年6月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2024年3月末
有価証券残高	274,773	318,203	△ 43,430	268,733
国債	15,340	46,126	△ 30,786	9,524
地方債	101,305	108,418	△ 7,113	103,414
社債	25,993	34,037	△ 8,044	26,940
株式	28,038	24,617	3,421	26,759
その他の証券	104,094	105,003	△ 909	102,093

### (2) 時価のある有価証券の評価差額

(単位：百万円)

	2024年6月末			2023年6月末			2024年3月末		
	評価差額			評価差額			評価差額		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
その他有価証券	<b>19,479</b>	21,925	2,445	<b>11,060</b>	15,289	4,229	<b>16,690</b>	18,518	1,827
株式	<b>12,737</b>	12,872	135	<b>8,228</b>	8,555	326	<b>11,481</b>	11,736	255
債券	<b>△ 818</b>	244	1,062	<b>△ 1,401</b>	942	2,343	<b>△ 266</b>	364	630
その他	<b>7,561</b>	8,808	1,247	<b>4,232</b>	5,791	1,559	<b>5,475</b>	6,417	942

(注)2024年6月末の「評価差額」は、2024年6月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。